



日本代表として大会に参加した津奈木海龍チーム

日本代表として力漕！

アジアドラゴンボート選手権大会 海龍出場

5月28日から6月2日までマカオで開催された、第11回アジアドラゴンボート選手権大会に日本代表として津奈木海龍チームが出場しました。結果は、僅差で決勝進出は逃しましたが、日本代表としての力漕を見せました。【200m】9位、【500m】8位

◆津奈木海龍より『今大会に出場して』

今回、アジアドラゴンボート選手権へ出場して、「皆さまからの支え」や「仲間の絆」「交流の大切さ」を強く感じました。レースに対しての気負いはほとんど無く、全力で楽しんだことで、自分たちの力を120%出し切ることができました。今大会を経験してメンバー一人ひとりが確実に成長できたと実感しました。この経験を今後にかし、更なるレベルアップに繋がります。皆さま本当にありがとうございました。

災害への対処いち早く！



各地域からの災害情報が共有されました。

B & G 体育館リニューアル

助成決定書授与式開催

5月26日（月）「地域海洋センター修繕助成」決定書授与式が役場で行われました。これは町のB&G体育館のリニューアル費用をB&G財団が助成するもので、授与式ではB&G財団専務理事 菅原悟志氏から西川町長へ助成決定通知書が手渡されました。

今回は体育館の全面改修を実施。新たに観覧席を設置するとともに音響工事も行い、大会やイベントが開催しやすくなるよう整備します。また多目的トイレも新設し、利便性、快適性が向上した施設へリニューアルします。2015年1月頃に完成予定です。



B&G財団の菅原氏から西川町長へ決定書が手渡されました

県内初合同防災訓練実施

5月29日（木）、芦北地域振興局と建設業協会芦北支部により災害発生時に道路や河川などの状況を共有する「災害情報共有システム」を活用した合同防災訓練を実施しました。このシステムは、GPS機能付きの携帯電話で撮影した被災現場の写真をメールで送り、インターネットに写真と位置情報が表示され、災害情報を共有できるというものです。

県内初となる今回の訓練は大雨による災害が発生したことを想定して、本番さながらに行われました。本町からは南興建設、平国野崎建設、大富建設の3社が参加。実際に現場に行き県の担当者と連絡を取り合っていました。

おいしいお米に育ってね



慣れない手つきで苗を植える園児たち

津奈木保育園田植え体験

津奈木保育園田植え体験が6月19日（木）、町中公民館横の田んぼで行われました。同保育園の年長児18人が参加した今回の田植え体験は園児たちの食育学習の一環で行われたもので、同保育園に通う園児の保護者の田んぼ約10㎡借り植えました。

園児たち一人ひとりに苗が配られ整列。園長先生の合図で一斉に田んぼに入りました。園児たちは、初めての田んぼの感触に足をとられ声を上げていました。

苗植えに取りかかると園児たちは「大きく育ってね」「大きくなってね」と声をかけながら丁寧に苗を植えていました。

「父の日」に牛乳を

父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン

6月10日（火）、ホワイト酪農協同組合から津奈木町へ牛乳のプレゼントがありました。これは、牛乳の消費拡大を目指して、地元で生産された安全で安心な牛乳を消費者にPRするため「父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン」の一環として行われたものです。

本町には酪農農家はいませんが、西日本一の酪農県である熊本県の中で球磨・芦北地域は有数の産地であり多くの人が牛乳の生産に励んでいます。当日は厳しい検査基準に合格した“安全でおいしい牛乳”をいただきました。



とれたての牛乳をおいしくいただきました



プロジェクターを使い丁寧に講演をする山本美也子さん

命の大切さを学ぶ

中学校人権教育講演開催

6月12日（木）、津奈木中学校で「命の大切さを学ぶ教室」が開催されました。これは人権教育の一環として開催されたもので、福岡県のNPO法人はあとスペース代表 山本美也子さんの講演が行われました。

山本さんは当時、高校一年生だった長男を飲酒運転による交通事故で亡くされ、同じような被害者が増えないように講演活動や、飲酒運転撲滅を呼びかける運動をしています。

約1時間、生徒たちは真剣な眼差しで講演を聞いており、最後には当時の山本さんの気持ちや状況など積極的に質問していました。